

2019年度

第61回 全国公立学校教頭会研究大会

第57回 近畿公立学校教頭会研究大会

2019年度 滋賀県小中学校教頭会研修会

(第2次案内)

滋賀大会

研究主題 「豊かな人間性と創造性を育み未来を拓く学校教育」

キーワード 〈自立・協働・創造〉

サブテーマ 「身近な環境との関わりを通じ
持続可能な社会の担い手となる子供の育成」

期 日 2019年 7月31日(水)・8月1日(木)・2日(金)

全体会場 びわ湖大津プリンスホテル

分科会場

- びわ湖大津プリンスホテル
- 琵琶湖ホテル
- ロイヤルオークホテルスパ&ガーデンズ
- クサツエストピアホテル
- ホテルボストンプラザ草津びわ湖



ごあいさつ



全国公立学校教頭会
会長 杉江 淳一

「滋賀大会によせて」

第61回全国公立学校教頭会研究大会滋賀大会の開催にあたり、全国公立学校教頭会を代表しまして、ご挨拶申し上げます。はじめに、本研究大会を開催するにあたり、文部科学省、全国都道府県教育長協議会、滋賀県、滋賀県教育委員会、大津市、大津市教育委員会をはじめ、関係諸機関、諸団体からご支援、ご協賛いただきましたことに衷心より感謝申し上げます。

全国公立学校教頭会は、全国約2万8千人の会員が「政策提言能力を備えた職能研修団体」として副校長・教頭の社会的地位や専門性の向上をめざして4つの方針の下、活動しています。第1の柱である「研修活動の充実」は重要な柱であり、全国公立学校教頭会のまさに「命」といえるものです。

今後、わが国の社会はグローバル化がますます多様性をもたらし、急速な情報化や技術革新による生活の質的变化の進展が予想されています。このような将来の予測が難しい社会の中、志高く未来を創り出していくために必要な資質・能力を子供たちに確実に育む学校教育の実現が求められています。私たちの研究活動は、副校長・教頭としての「資質を高めるための研修を推進し、わが国の教育の振興に寄与する」という目的の下、第1期から40年以上にわたり継続して取り組んできた組織的な協働研究です。本年度は、全国統一研究主題「豊かな人間性と創造性を育み未来を拓く学校教育」を掲げた第11期の3年次となります。生涯学習社会の構築に向け、学校教育においても子供たち一人一人が多様な個性・能力を伸ばし(自立)、個人や社会の多様性を尊重しともに支え合い高め合いながら(協働)、新たな価値を創造していく(創造)ことのできる資質・能力の育成に努めなければなりません。

本研究大会には、「継続性」「協働性」「関与性」に焦点を当てた全国からの多様な実践的研究が提案されます。「代表参加制」、「参加型の分科会」等の取り組みにより、副校長・教頭としての専門性を高め、実践的指導力が磨かれるものと確信しております。

結びに、「湖国 滋賀」における本研究大会が、学校教育の輝かしい未来に向けての豊かで実り多きものとなりますよう祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。



滋賀大会実行委員会
委員長 高嶋 利明

「身近な環境との関わりを通じ 持続可能な社会の担い手となる子供の育成」に向けて

日本最大の湖「琵琶湖」を有する滋賀は、本州のほぼ真ん中に位置し、古くから交通の要所として重要な役割を果たしてきました。また、滋賀は琵琶湖とそれを取り囲む多くの山々を有し、古くから都が置かれるなど日本史上との関わりも強く、県全土にわたり自然・歴史・文化的資源が豊富に存在する地域です。

その滋賀の地において開催します今回の大会では、第11期全国統一研究主題を踏まえ、サブテーマを「身近な環境との関わりを通じ 持続可能な社会の担い手となる子供の育成」と設定しました。

「身近な環境」とは、自然環境はもちろんのこと、人、物、文化など、子供を取り巻く様々な環境を想定しています。これらに興味をもって主体的に関わりようとすることで豊かな感性が醸成されたり、他者への思いやりの心情が芽生えたりすると考えます。自分以外の他者を尊重し、うまく共存することのできる力は、これからの社会において大変重要と考えます。

「持続可能な社会の担い手となる子供の育成」とは、ESD理念に則り、環境、経済、社会が抱える様々な課題を自らの課題としてとらえ、まずは身近なところから取り組むことにより、それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すための教育と考えます。今後、ますます変化が加速、拡大し続けるであろう未来社会を、受け身ではなく主体的に生き抜く自立した子供を育て、持続可能な社会の礎を築くことが、学校教育に課せられた肝要かつ不可避な使命であると考えます。

湖上を爽やかな風が吹き抜けるこの「湖国 滋賀」にて、サブテーマのもと、これからの日本の教育のあり方について皆様と一緒に考えていければと思います。関係者一同、精一杯のおもてなしの心で大会開催に向け、準備を進めています。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

開催要項



主催 全国公立学校教頭会 近畿公立学校教頭会 滋賀県小中学校教頭会

後援 文部科学省・全国都道府県教育長協議会・滋賀県・大津市
 滋賀県教育委員会・大津市教育委員会・全国連合小学校長会・全日本中学校長会
 全国へき地教育研究連盟・滋賀県都市教育長会・滋賀県町村教育長会
 滋賀県小学校長会・滋賀県中学校長会・公益社団法人日本PTA全国協議会
 滋賀県PTA連絡協議会・一般社団法人滋賀県教育会
 公益財団法人日本教育公務員弘済会滋賀支部

(順不同)

大会主題 「豊かな人間性と創造性を育み未来を拓く学校教育」

全国統一研究主題 第11期3年次

キーワード < 自立・協働・創造 >

サブテーマ 「身近な環境との関わりを通じ 持続可能な社会の担い手となる子供の育成」

開催期日 2019年7月31日(水)・8月1日(木)・2日(金)

開催地 滋賀県大津市・草津市

会場 全体会場：びわ湖大津プリンスホテル
 分科会場：びわ湖大津プリンスホテル・琵琶湖ホテル・ロイヤルオークホテルスパ&ガーデンズ
 クサツエストピアホテル・ホテルポストンプラザ草津びわ湖

日程

	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
【1日目】 7月31日(水) びわ湖大津プリンスホテル						受付 アトラクション DVD放映	開会行事	シンポジウム		
【2日目】 8月1日(木) 各会場		受付	分科会		昼食		分科会			
【3日目】 8月2日(金) びわ湖大津プリンスホテル		受付	研究まとめ	記念講演	閉会行事					

アトラクション よし笛コンサート 演奏 レイクリード

シンポジウム テーマ 「身近な環境との関わりを通じ 持続可能な社会の担い手となる子供の育成」

コーディネーター 小林 圭介 氏(滋賀県立大学名誉教授)

シンポジスト 勝山 浩司 氏(一般財団法人教職員生涯福祉財団専務理事・事務局長)
 (国立大学法人 東京学芸大学 顧問)

シンポジスト 今関 信子 氏(児童文学作家)

シンポジスト 小林 徹 氏(オプテックスグループ株式会社 代表取締役会長兼CEO)

記念講演 講師 今森 光彦 氏(写真家)
 演題 「琵琶湖水系の美しい自然」

研究内容



テーマ『身近な環境との関わりを通じ 持続』

研究の基本目標

今後、わが国の社会はグローバル化がますます多様性をもたらし、急速な情報化や技術革新による生活の質的変化の進展が予想されています。また、このような将来の予測が難しい社会の中、志高く未来を創り出していくために必要な資質・能力を子供たち一人一人に確実に育む学校教育の実現が求められています。教育の現場にいる私たちは、新たな事態に直面した今後の教育の在り方を見極め、日本国憲法や教育基本法、学習指導要領の理念に基づき、学校教育の中に実現していくことが、大きな使命と考えています。

このような背景を踏まえ、「社会や地域に開かれた学校づくり」を展開し、未来を拓く「生きる力」を高め、豊かな人間性や創造性をもち、国際社会の一員としての自覚をもった人間を育成するために私たちは貢献しなければなりません。また、私たちは、副校長・教頭の職務内容の研究を通して力量を高め、国民の期待に応える魅力ある学校づくりに努めることが必要です。

以上のことから、次のことを研究の基本目標とします。

●教育理念に基づく学校教育の実現

特色ある学校づくり、社会に開かれた学校づくりを展開し、生きる力を育む学校教育の実現を目指す。

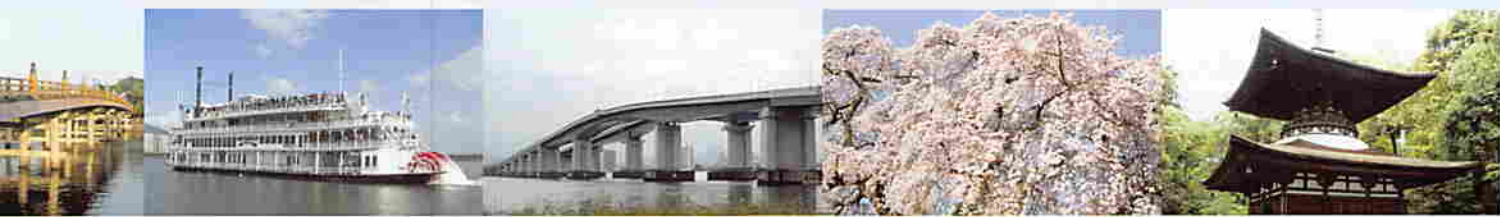
●副校長・教頭としての力量の向上

広い視野に立って学校運営が行えるよう、学校教育に対する識見を深める。

●学校の社会的役割の推進

国民の期待に応える魅力ある豊かな学校づくりを推進する。

分科会	課題名	各課題の内容		
第1A	教育課程に関する課題	○教育課程の編成・実施・評価 ○学校経営・学校運営 ○教育理念 ○教育目標の設定 ○信頼される学校づくり ○生きる力 ○幼・保・小・中・高・特別支援学校の連携 ○コミュニティ・スクール ○土曜授業 ○地域との連携	全国	北海道(小)
第1B			近畿	京都府(中)
第2	子供の発達に関する課題	○豊かな人間性の育成 ○健康・体力の増進 ○確かな学力 ○課題を発見し解決する力 ○子供の発達を支える教育課題	全国	福島県(小)
			近畿	滋賀県(中)
			近畿	山梨県(小)
第3	教育環境整備に関する課題	○安全・安心 ○施設設備 ○家庭・地域との連携 ○学校規模適正化 ○文書事務・経理事務の管理 ○教育の情報化	全国	愛知県(小)
			近畿	奈良県(中)
			近畿	滋賀県(小)
第4	組織・運営に関する課題	○学校運営全般 ○人材育成 ○組織力の向上 ○危機管理や情報管理 ○地域連携 ○異校種連携	全国	岡山県(小)
			近畿	和歌山県(小)
			近畿	滋賀県(中)
第5A	教職員の専門性に関する課題	○教育の専門家としての意識高揚 ○指導力の育成 ○研修 ○服務・コンプライアンス意識 ○小中一貫教育 ○協働体制の構築 ○学校運営参画意識の向上	全国	香川県(小)
第5B			近畿	兵庫県(中)
近畿			大分県(小)	
第6	副校長・教頭の職務内容や職務機能に迫る課題	○「全国公立学校教頭会の調査」について結果報告及び考察 ○文部科学省働き方改革部会関係者等の講演	全公教総務・調査部	
特I	時宜に応じた課題	○学校教育の改善に関する講演 ○学校改革と副校長・教頭の役割に関する講演 ○グループ協議	全公教研究部	
特II	開催地の創意を生かした課題	○フローティングスクールによる環境学習に関する講演 ○琵琶湖の環境保全活動と環境教育に関する講演 ○グループ協議	滋賀県	



『可能な社会の担い手となる子供の育成』

研究の基本方針

(1) 学校教育の課題の解決に努める

私たちの研究は、国民の期待に応え、教育基本法及び学校教育法等の諸法規に定められた教育の目標を達成することを究極の目的とする。そのために自ら職能を高め、学校現場が抱えている課題の解決に努める。

(2) 副校長・教頭の職務内容や職務機能を追究する

学校運営において副校長・教頭としての関わりを大切に、その職務内容を実践的に追究するとともに職務機能の充実を図る。

(3) 研究成果を政策提言活動(要請活動)に生かす

研究活動と政策提言活動(要請活動)は全国公立学校教頭会の活動の二本柱である。研究の成果を政策提言活動に生かし、教育環境の整備に役立てていくよう努める。

提言テーマ	会場
今日的な課題を捉え教育課程の充実を図る教頭のリーダーシップとは何か —「組織」「運営」「連携」の取組を窓口として— 学力向上に向けた授業改善と学びの環境づくりのシステム構築に向けた教頭の役割 —「学びを育む京丹後メソッド」の理念に基づいた研究と実践を通して— 確かな学力の向上を目指した小中連携の取組と教頭とのかかわり —「学びのスタンダード」推進事業を軸として— 社会に開かれた教育課程の実現を目指して —未来の創り手に必要な資質・能力を育むための教頭の役割— 児童生徒の理解・生徒指導・豊かな人間性の育成を目指して —関係機関との連携のあり方や方策について— 豊かな人間性の育成と校区一斉清掃 —地域との連携を深める取り組みに教頭としてどう関わるか— 課題のある子どもを中心に捉えた、どの子も育つ学びづくりと仲間づくり —共通実践と個別実践から効果的な教頭の関わりを探る— 子どもが安心・安全に過ごせる環境整備 —学校・地域・家庭との連携を通して— 地域連携教育と教頭の職務 —日本一広い村にある学校の取組— 「働き方改革」と教頭の役割 —学校における業務の効率化と情報化— 学校小規模化に伴う課題を克服する取組 —矢掛町における合同授業と合同学年部研修会の推進における教頭の役割— 小規模校における学校活性化を目指した取組 —地域や家庭、校種間の連携を通して— 学校の組織力を高める教頭の役割 —校内研究による授業改善から教育目標の具現化へ— 若年教員を計画的・組織的に育成するための教頭の役割 —地域の協働体制を生かした取組を通して— 教職員の資質向上に向けた教頭の役割 —「高砂市小中一貫教育」の取組を活かした道徳教育推進のあり方— 義務教育9年間で育む地域とともに生きる子どもの育成 —小・中一貫教育の推進と教頭の役割— 教職員の指導力向上を目指す教頭の役割 —小中一貫教育の取組を通して—	びわ湖大津プリンスホテル 淡海1・2
	びわ湖大津プリンスホテル 淡海3・5
	びわ湖大津プリンスホテル 淡海6・7
	クサツエストピアホテル 瑞祥
	ホテルボストンプラザ草津びわ湖 ケネディルーム
	ロイヤルオークホテル スパ&ガーデンズ ローズ
	ロイヤルオークホテル スパ&ガーデンズ パール
統・学校における働き方改革と副校長・教頭の役割 ※参加者は事前アンケートを全公教ホームページからダウンロードして記載し、10部お持ちください。	びわ湖大津プリンスホテル 淡海8・9・10
①「カリキュラムマネージメントを通しての学校教育の改善について」 —信濃教育会(長野県)での実践を通して— ②「麹町中学校の学校改革と副校長の役割」	びわ湖大津プリンスホテル プリンスホール
①「環境に主体的に関わる力を育むフローティングスクール学習」 —びわ湖や郷土について学び、考え、伝え合い、びわ湖と自分のつながりを見つめる子の育成を目指して— ②「ヨシいけドンドン作戦による琵琶湖の環境保全活動と環境教育」	琵琶湖ホテル 瑠璃

シンポジウム 記念講演 講師紹介



シンポジウム 【7月31日(水) 14:00~】

●コーディネーター
小林 圭介 氏
滋賀県立大学名誉教授
理学博士・農学博士
滋賀県生きもの総合調査委員会会長



【略歴】
1940年生まれ 長野県出身 滋賀県彦根市在住
1979年 滋賀県立短期大学教授
1995年 滋賀県立大学環境科学部教授
1997年~ 滋賀県立大学名誉教授
第15次南極地域観測隊員(1973)および北極スバル
パール諸島学術隊長(1985)として極地の植生調査
に従事
【主な著書】
「日本植生誌」[植物社会学-生態学講座4]
「滋賀県自然誌」[滋賀県レッドデータブック]
「緑環境の幼児の発達過程に及ぼす影響について」
等、著書・論文多数

●シンポジスト
勝山 浩司 氏



一般財団法人教職員生涯福祉財団専務理事・事務局長
国立大学法人 東京学芸大学 顧問

【略歴】
1956年生まれ 北海道札幌市出身
国立大学勤務後、1983年当時の文部省へ
2004年 兵庫県宝塚市教育長
2007年 文部科学省教育財政室長
2010年 青少年課長
2012年~2016年 国立大学法人東京学芸大学
理事・副学長・事務局長
2016年5月~ 財団勤務
【主な著書】
「週刊教育資料」や「学校事務」誌等に多数寄稿、中央
教育審議会答申作成

●シンポジスト
今関 信子 氏
児童文学作家
日本児童文学者協会会員、日本ペンクラブ会員
滋賀県児童図書研究会会長



【略歴】
東京生まれ埼玉育ち。
幼稚園教諭として7年勤務の後、古田足日氏に師事し
創作活動に入る。
2017年まで滋賀県レイカディア大学で18年間手作
り紙芝居の講座を担当する。
2000年より4年間滋賀県教育委員を務める。
子どもの遊び、児童文化に関心を持ち、広く活動す
る。
【主な著書】
「小犬の裁判はじめます」童心社
「さよならの日のねずみ花火」国土社
「永遠に捨てない服が着たい」汐文社
「デニムさん」佼成出版

●シンポジスト
小林 徹 氏



オプテックスグループ株式会社
代表取締役会長兼CEO

【略歴】
1971年 同志社大学工学部卒業
1979年 オプテックス株式会社創業
代表取締役就任
2017年 オプテックスグループ株式会社
代表取締役会長兼CEO

オプテックスグループとして、光技術を中心とした事
業展開を行う一方、子会社のアウトドアスポーツクラ
ブ「オーパルオプテックス」を通じて、県内外の子ども
たちに琵琶湖畔でのスポーツ体験学習(カヌー、ドラ
ゴンボート、いかだづくりなど)と水環境体験学習(湖
畔の生き物しらべ、ヨシ紙を使った笛づくり、プランク
トン観察など)の機会を提供している。

記念講演 【8月2日(金) 10:00~】

演題 「琵琶湖水系の美しい自然」

今森 光彦 氏



1954年、滋賀県生まれ。写真家。琵琶湖
をのぞむ田園風景の中にアトリエを構え活
動する。自然と人との関わりを「里山」とい
う空間概念で追い続ける。一方、熱帯雨林
から砂漠まで、地球上の辺境地の取材をつ
づけている。また、近年は、自然のかたちを
ハサミひとつで鮮やかに切り出すペーパー
カット作家としても知られ、その作品は、全
国の美術館などを巡回している。

写真集に「里山物語」(新潮社)、「湖辺」

(世界文化社)、「世界昆虫記」(福音館書店)、写真文集に「萌木の国」(世
界文化社)、「里山を歩こう」(岩波書店)、写真絵本に「神様の階段」(偕成
社)など多くの著書がある。

第20回木村伊兵衛写真賞、第28回土門拳賞、第48回毎日出版文化賞、
第56回小学館児童出版文化賞、第42回産経児童出版文化賞大賞など数
多くの賞を受賞。



全体会会場

第1・3日目

①びわ湖大津プリンスホテル

〒520-8520 滋賀県大津市におの浜4-7-7
【TEL】077-521-1111 【FAX】077-521-1110

JR大津駅より
無料バス運行(約15分)

分科会会場

第2日目

①びわ湖大津プリンスホテル

1A分科会 淡海1・2
1B分科会 淡海3・5
2分科会 淡海6・7
6分科会 淡海8・9・10
特I分科会 プリンスホール



〒520-8520 滋賀県大津市におの浜4-7-7
【TEL】077-521-1111
【FAX】077-521-1110

JR大津駅より 無料バス運行(約15分)

②琵琶湖ホテル

特II分科会 瑠璃



〒520-0041
滋賀県大津市浜町2-40
【TEL】077-524-7111
【FAX】077-524-8318

JR大津駅より (徒歩約10分)

③ロイヤルオークホテル スパ&ガーデンズ

5A分科会 ローズ
5B分科会 パール



〒520-2143
滋賀県大津市萱野浦23-1
【TEL】077-543-0111
【FAX】077-543-9100

JR石山駅より 無料バス運行(約10分)

④クサツエストピアホテル

3分科会 瑞祥



〒525-0037
滋賀県草津市西大路町4-32
【TEL】077-566-3333
【FAX】077-565-7775

JR草津駅より (徒歩約5分)

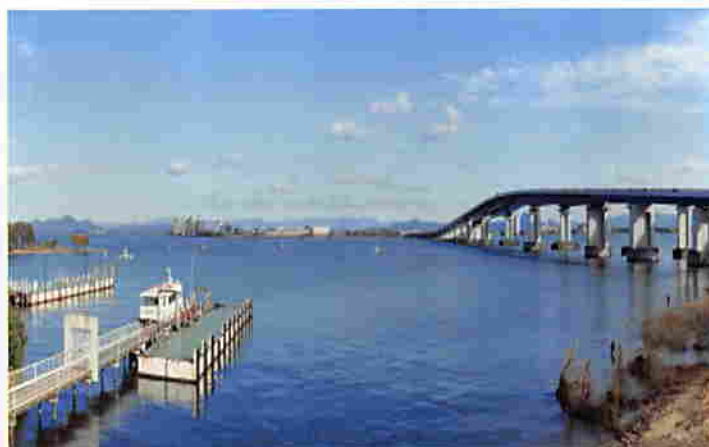
⑤ホテルポストプラザ草津びわ湖

4分科会 ケネディルーム



〒525-0037
滋賀県草津市西大路町1-27
【TEL】077-561-3311
【FAX】077-561-3322

JR草津駅より (徒歩約1分)



全体会場 分科会会場図



■大会お問い合わせ先

第61回 全国公立学校教頭会研究大会
 第57回 近畿公立学校教頭会研究大会
 2019年度 滋賀県小中学校教頭会研修会

全国公立学校教頭会研究大会 滋賀大会 実行委員会

実行委員長 高嶋 利明

〒520-0051 滋賀県大津市梅林一丁目4-15 教育会館内

【TEL】077-525-1011 【FAX】077-521-7345 【E-mail】shiga-25@estate.ocn.ne.jp

●第2次案内掲載先…全国公立学校教頭会ホームページ(<http://www.kyotokai.jp>)内滋賀大会 第2次案内



■大会参加・宿泊のお問い合わせ先

株式会社 日本旅行 滋賀教育旅行支店

〒525-0025 滋賀県草津市大路一丁目10-1

【TEL】077-563-2001 【FAX】077-562-5613 【E-mail】kyotokai@nta.co.jp